

# HopStepJump 5

<https://toyono-jinjikyo.com/>

授業づくり②  
情報教育・ICT 機器を活用した  
授業づくりについて

第4回初任者研修は、「情報教育・ICT 機器を活用した授業づくり」というテーマで池田市教育センターの松波典和指導主事にオンライン（Zoom）で講義をしていただきました。1人1台端末を「文房具の一つ」としてどのように授業の中で活用していくかを考える上で、体験的に学ぶ演習やグループでの交流を多く設定していただき、実際の授業での活用を想起させながらよりよい授業、授業改善のためのICT活用を考えることができました。

## ～振り返りシートから～



- ・なんでもかんでもICTというわけではなく、紙媒体での授業のよさと、ICT活用のよさをうまく融合できるよう、試していきたいと思える講義内容でした。
- ・ICTの使い方、指導方法によって可能性は大きく広がるものだと感じました。ICTを使うことが目的になりすぎないように、ICTをつかって子どもたちの学びの力をつけていきたいと思えます。
- ・教員が明確な意図をもち授業をつくるツールとしてICTの活用をもっと考えようと思いました。ICT活用分類を説明していただいて、子どもたちに何気なく活用させてしまっていたなと反省しました。
- ・すべてのことをいきなり実践するのは難しいので、まずは簡単な活用法から試して、慣れてきたら徐々にできそうな取り組みを増やしていこうと思いました。どのような機能があるか理解し、どのように活用すれば授業に役立つことができるのかを私自身がもっと学ばなければならないと思いました。
- ・グループワークで違う校種の先生とお話できたのがとてもよかったです。
- ・研修の最後の「初任には初任の良さがある」という言葉にとっても励まされました。今の自分にできることを精一杯して、子どもと向き合い授業をつくっていこうと思います。

豊能地区教職員人事協議会のめざす教職員像は、

**「子どもとともに学び続ける教職員」**です。

研修の内容や話題を校内の先輩方と話したり、研修で学んだことや気づいたことをヒントにして授業で試したりすることで、より深い学びにしていけます。研修がお互いにとってよい「きっかけ」になるように受講者同士が所属の市や町を越えての交流を今後も大切にしてください。各々の視点での交流を通して初任者同士でも学びあい、刺激しあい、高めあいましょう！

また、子どもたちにとっての授業での学び方と、先生方にとっての研修での学び方は同じです。まずは、みなさん自身が学びのロールモデルであることを意識してください。研修を受講する際には、「研修の手引（ピンク色の冊子）」の2ページには日時・場所とともに研修のテーマ・該当する指標（研修のねらい）の記載があります。研修受講前には必ず確認をして、ご自身の現状から課題をとらえ、その課題を解決するきっかけやヒントを研修の中から見つけ出すようにしましょう。



裏面へ

以下は、研修通信③でもお伝えしましたが、好評につき「続編」として、例年寄せられる疑問や質問を中心にコラボ研修のポイントを紹介します。間近に迫ったコラボ研修の当日をイメージする一助としてください。



もっと!

## コラボ研修 ~コラボ研修を「より深い学び」にするためのポイント~

### Q. 模擬授業の中でパワーポイント等を使いたいのですが…（ICT活用について）

A. 原則、教室の電子黒板等は使用しません。また、児童生徒役も端末はありません。活用や提示をしたい場合は①個人の端末で提示する ②スライドを印刷して持参・配付する ③口頭で構想を紹介する などあくまで「模擬」で授業をしてください。研修での学びを2学期以降の実際の授業に活かしましょう。

### Q. 黒板に「貼りもの」で提示をしたいのですが…（持参物について）

A. マストではありませんが必要に応じて持参することは可能です。負担のないようにご準備ください。また、模擬授業の中で提示や活用したい教具や具体物も同様です。個人のものではない所属校の備品等を持ち込む際には校内で持ち出しの確認をしてください。（チョーク・マグネット・黒板用定規などは教室にあるものを使用できます。）

### Q. 市町によって教科書の出版社が違うのでは…（必要に応じての配付や持参について）

A. 普段使っている教科書を持参することと、必要なページはコピーして班のメンバーに配付をすると、模擬授業中や事後協議がしやすくなります。教科書の違いからも教材研究・教材理解ができますよ。また、ワークシートやプリントなども必要に応じて班のメンバー用の配付分をご準備ください。

### Q. 授業内容の一部を省略することはできますか？（模擬授業の時間配分について）

A. 本来の授業ならかける時間（課題に取り組む、交流をする、準備をするなど）も、大人が相手で人数も少ないため、時間設定を短くすることは可能です。しかし、45分や50分の授業を20分程度に縮小しておこなったり、20分バージョン（もともとの授業時間が20分）にしたりというものではありません。

### Q. 10年経験者研修の先生方とはどれくらいお話ができますか？（質問・相談について）

グループの人数にもよりますのでそう多くはないかもしれませんが、例年、模擬授業の合間には先輩方の経験や思い、考えを聞ける時間があります。授業づくりの研修ですが、教科の話以外でも時間の許す限りざっくばらんにお話してください。せっかくの機会ですので積極的に自分から質問してみましよう。

### Q. 最後に何かアドバイスをください！（前日・当日の心得）

A. 前日は早めに寝ましょう。暑さも予想される中での終日研修です。また、基本の持ち物（名札、上靴、下靴を入れる袋、昼食、飲み物など）の準備も前もって確認してください。当日の受付開始は9時、研修開始は9時半、トップバッターは9時40分くらいから模擬授業をおこないます。集合も時間に余裕をもって会場となる大阪教育大学附属池田小・中学校にお越しください。

みなさんにとって、**コラボ研修を「より深い学び」にするためのポイント**です！  
よい研修になるように一緒に研修を創りましょう！！